

平成20年度
全国学力・学習状況調査

分析結果

～ 下野市全体の傾向 ～



下野市教育委員会
平成20年11月28日

目 次

1	はじめに	1
2	下野市全体の傾向	
(1)	学力調査の結果より	
①	領域別比較	1
②	昨年度との比較	2
③	国語, 算数・数学の課題(概要)	2
(2)	学習状況調査の結果より	
①	学力と学習状況の相関	4
②	良好な面	5
③	課題とされる面	6
3	学習状況調査の分析結果	
(1)	基本的な生活習慣	7
(2)	学習時間等	
①	学習時間について	8
②	国語・読書, 算数・数学について	9
(3)	学校生活	10
(4)	家庭でのコミュニケーション	10
(5)	規範意識・自尊意識等	12
(6)	地域について	13

平成20年度全国学力・学習状況調査分析結果

平成20年11月28日
下野市教育委員会

1 はじめに

下野市教育委員会では、平成20年度の全国学力・学習状況調査の概要について、第一段階として、9月2日付けで、下記内容にて速報をお知らせしました。

今年度も第二段階として、下野市全体としての結果を分析し、公表いたします。

各学校におかれましては、この分析結果を自校の分析結果と照らし合わせ、今後の学習指導の工夫改善に役立てていただくとともに、児童生徒の学習意欲の向上に向けて、参考にしていただきたいと思います。

《第一段階》(速報)

平成20年度の全国学力・学習状況調査の本市の結果(国語, 算数・数学)は、全国の平均正答率と比べ、小学校, 中学校ともに、すべての領域で全国を上回る結果となりました。

1 小学校の調査結果について

国語のA・B問題, 算数のA・B問題ともに、全国の平均正答率をどの領域も上回っていました。特に、国語のA問題では、4領域の内「読むこと」が7.5ポイント上回っていました。また、算数のB問題では、4領域の内「数と計算」「数量関係」が2.5ポイント、全国の平均正答率を上回っていました。

2 中学校の調査結果について

国語のA・B問題, 数学のA・B問題ともに、全国の平均正答率をどの領域も上回っていました。特に、国語のB問題では、4領域の内「言語事項」が13.9ポイント、数学のB問題では、3領域の内「数と式」が16.4ポイント、全国の平均正答率を上回っていました。

A問題(主として「知識」に関する問題)

B問題(主として「活用」に関する問題)

《国語A・Bの領域》 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」

※国語は小学校, 中学校共通

《算数A・Bの領域》 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

《数学A・Bの領域》 「数と式」「図形」「数量関係」

2 下野市全体の傾向

(1) 学力調査の結果より

学力調査		下野市	栃木県(公)	全国(公)
調査対象 人数内訳	小学校 12校	592人	※18,420~18,436人	※1,147,406~1,147,633人
	中学校 4校	586人	※17,480~17,493人	※1,029,961~1,030,521人

※国語A・B, 算数・数学A・Bそれぞれで参加人数が異なるため

①領域別比較

今年度も昨年度同様、全国の平均正答率と比べ、小学校, 中学校ともに国語A・B, 算数A・B, 数学A・Bにおいて、どの領域も全国を上回る結果となりました。

特に、各教科A・Bの中で、高い領域(全国を5ポイント以上、上回ったもの)は、次に示すとおりです。

○小学六年生

国語A（知識）「読むこと」

○中学三年生

国語A（知識）「書くこと」「読むこと」

国語B（活用）「書くこと」「読むこと」「言語事項」

〔※ 国語B（活用）の「話すこと・聞くこと」はなし〕

数学A（知識）「数と式」「図形」「数量関係」

数学B（活用）「数と式」「図形」「数量関係」

小学校は、どの領域でも全国をやや上回っていますが、大きく上回った領域は一つでした。（昨年度は4領域で大きく上回りました。）中学校は、国語B、数学A・Bともに、すべての領域で、全国を大きく上回る結果となりました。（昨年度は4領域で大きく上回りました。）

小学校、中学校ともに、国語A（知識）「読むこと」が大きく全国を上回っています。その要因の一つとして、「読書が好き」と答えた児童・生徒の割合や「家庭や図書館での読書の時間」が、全国より高いことが考えられます。また、文章を読みとる姿勢が身に付いていることがうかがえます。

②昨年度との比較

今年度の下野市の平均正答率を、昨年度のものと比較した結果(差)が下に示すとおりです。

		下野市	全国	全国との差
小学 生	国語A（知識）	－ 16.2 ポイント	－ 16.3 ポイント	＋ 0.1 ポイント
	国語B（活用）	－ 17.1 ポイント	－ 11.5 ポイント	－ 5.6 ポイント
	算数A（知識）	－ 10.6 ポイント	－ 9.9 ポイント	－ 0.7 ポイント
	算数B（活用）	－ 14.6 ポイント	－ 12.0 ポイント	－ 2.6 ポイント
中学 生	国語A（知識）	－ 8.4 ポイント	－ 8.0 ポイント	－ 0.4 ポイント
	国語B（活用）	－ 9.2 ポイント	－ 11.2 ポイント	＋ 2.0 ポイント
	数学A（知識）	－ 7.2 ポイント	－ 8.8 ポイント	＋ 1.6 ポイント
	数学B（活用）	－ 10.5 ポイント	－ 11.4 ポイント	＋ 0.9 ポイント

下野市も全国同様、小学校、中学校ともに平均正答率が低かったことから、今年度は昨年度よりも問題の難易度が高いことがわかります。

また、今年度の市の平均正答率の全国との差は、昨年度と比べて、全体的に小学校では下回り、中学校では上回っているといえます。

特に小学校では、国語B、算数Bが、昨年度よりも2ポイント以上下回っていることから、応用・活用する力をさらに育成することが課題として挙げられます。基礎基本の定着についての指導は充実していると思われませんが、新学習指導要領の趣旨も踏まえて、学んだ知識や技能を活用する学習にも、より力を入れていく必要があります。

③国語、算数・数学の課題（概要）

国 語

小・中学校どちらも、国語A（知識）・国語B（活用）ともに全国を上回っています。また、学習状況調査からも、「国語の勉強は好き」「読書は好き」と答えた小中学生の割合がともに全国より4～9%高いことが、今年度も本市の特徴の一つとして挙

げられます。総体的には良好な状態であるといえますが、以下のような課題も見られました。

〈小学校〉

《言語事項》

国語Aの「漢字を正しく書く」という出題において、「予防」「会場（同音異義語）」の漢字の書きの平均正答率が6割程度とやや低かったこと、「開場（同音異義語）」については、平均正答率が3割程度と低かったことから、文脈の意味に応じて正しく漢字を書くことに課題があります。また、文章を読み返して、書き直したほうがよい理由と方法を選択する問題では、正答率が3割程度で低く、全国より下回っていました。このことから、文の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲する力に課題が見られました。

《読む能力》

国語Bの目的に応じて必要な情報を取り出し、整理する問題は、正答率が低く、全国を下回っていました。必要な情報を読み取る能力に課題があるといえます。

《書く能力》

国語Bの2つの意見文を比べて読み、文章の組み立てを考える問題は、全国を下回る問題がありました。事実・事例と感想・意見を区別して書くことが課題です。

その他に、記述式で正答率が低い問題での無回答率が高いことも、課題としてあげられます。

〈中学校〉

《言語事項》

国語Aでは、同音異義語の選択の問題が正答率が低く、文脈の中での語句の意味の理解に課題があるといえます。それから、国語辞典や漢字辞典の活用の問題の正答率が5割前後と低く、語彙力の不足が課題としてあげられます。

《読む能力》《書く能力》

国語Bでは、文章やグラフから必要な情報を正しく読み取る問題の正答率が5割程度であり、全国は上回っていますが、苦手な内容であることが分かります。

また、文章や資料から読み取った内容を目的に応じて書くことは、国語の総合的な力を発揮するもので、最も難しい課題であると考えられます。

算数・数学

算数A（知識）・算数B（活用）、数学A（知識）・数学B（活用）ともに、平均正答率は全国を上回る好ましい状況でした。また、「算数・数学が好き」と答えた小中学生の割合は、全国を5%程度上回り、昨年度同様高い傾向にありました。しかし、以下の点が課題として見られました。

〈小学校〉

《数と計算》

算数Aでは、繰り下がりのある減法の計算や、整数と小数の加法の計算は、やや全国を下回っていました。基本的な計算の技能が定着していない児童がいることが分かります。

また、小数の乗法、除法における乗数と積、除数と商の大きさの関係の問題や、何倍かを求める問題は、4割～5割と低い正答率でした。数の意味や大きさの理解が不十分であること、何の何倍が何であるといった数量関係を適切にとらえられないことが、昨年度同様、課題であることが分かりました。

《量と測定》

算数Aでは、面積が約150cm²であるものを選ぶ問題では、全国（17.7%）をやや下回っていました。面積についての感覚が十分身に付いていないことが課題です。

それから、ひし形や二等辺三角形の定義や性質についての問題が、わずかに全国平均を下回っていました。基礎的な知識を活用して解決する力に課題があるといえます。

《図形》

複合図形の求積の問題が、全国をわずかに下回っていました。活用力に課題があるといえます。

《数量関係》

算数 B では、筋道を立てて考え、自分の考えの理由を記述する問題の正答率が、1 割～4 割と低く、児童にとって難しいことが分かります。

また、グラフから割合や基準量などの必要な情報を選択する問題が、全国をやや下回っており、割合の問題について思考することは苦手であるといえます。

〈中学校〉

《数と式》

数学 A では、文字式の意味を具体的な事象と関連づけてよみとる問題が 4 割程度の正答率で、文字式の意味を読み取ることが課題であるといえます。

《数量関係》

数学 B では、数量を求める際に、複数の事象を統合的にとらえ、共通する考えを見出す問題が 5 割を割り、全国をやや下回りました。帰納的な考え方によって判断する力が課題と考えられます。

(2) 学習状況調査の結果より

学習状況調査	下野市	栃木県 (公)	全国 (公)	
調査対象	小学校 1 2 校	592 人	18,427 人	1,147,525 人
人数内訳	中学校 4 校	586 人	17,491 人	1,030,265 人

質問数	小学校、中学校ともに 7 5 問
回答方法	4 つから選択 1 している (当てはまる) 2 どちらかといえばしている (当てはまる) 3 あまりしていない (どちらかといえば、当てはまらない) 4 全くしていない (当てはまらない)
質問内容	小学校、中学校ともに同じ内容 ○基本的な生活習慣 ○目標、達成感、長所 ○学習・テレビ・ゲーム時間 ○家庭でのコミュニケーション ○関心・意欲・態度 ○規範意識・道徳性 ○教科・学習の取り組み ○解答時間 等

① 学力と学習状況の相関

市の学習状況調査の結果から、小学校中学校ともに学力調査結果との相関関係 (学習状況調査で望ましい回答をしている子ほど、学力調査の平均正答率が高い) が見られた項目は、次のとおりでした。

〈学習態度に関するもの〉

(5) 達成感 (2 5) 計画性 (2 8) 復習 (4 8) 発表

〈関心・意欲・態度に関するもの〉

(3 1) ニュースへの関心

〈規範意識に関するもの〉

(3 5) 友達との約束

〈国語に関するもの〉

(5 2) 国語の理解 (5 4) 漢字 (5 5) 国語の有用感 (5 9) 国語読み

(6 0) 文章解答 (7 2) 解答時間 (国語 A)

〈算数・数学に関するもの〉

(6 3) 算数・数学の理解 (6 5) 多様な解決方法 (7 1) 説明解答

(7 4) 解答時間 (算数・数学 A)

②良好な面

学習状況調査の下野市の結果を全国（県）と比べて、小学校中学校ともに上回っていた質問内容は、次のとおりです。

質問 番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	87.0	85.3	89.5	83.3
(3)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.9	72.7	73.4	68.2
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.9	89.0	92.3	90.4
(5)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	95.3	93.5	95.0	91.9
(6)	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか	78.3	72.3	67.0	61.9
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	80.1	73.4	65.3	60.8
(12)	普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか	43.3	46.1	32.5	39.6
(15)	携帯電話で通話やメールをしていますか	18.5	25.3	47.6	57.1
(18)	家や図書館で、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(30分以上)	41.1	36.8	34.5	27.9
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	71.6	69.2	60.1	57.9
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	40.4	35.4	32.8	28.4
(28)	家で学校の授業の復習をしていますか	50.8	40.4	56.7	39.6
(31)	新聞やテレビのニュースなどに興味がありますか	73.6	66.1	69.6	64.1
(32)	今住んでいる地域の歴史や自然について興味がありますか	55.1	48.2	26.5	23.5
(33)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	68.8	59.9	41.8	37.0
(34)	学校のきまり（規則）を守っていますか	89.9	86.3	91.8	87.4
(35)	友達との約束を守っていますか	97.5	96.4	97.2	96.1
(36)	人が困っているときは、進んで助けていますか	83.3	77.7	75.4	72.7
(38)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	94.1	91.9	94.7	92.5
(39)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.8	94.7	93.8	89.5
(40)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.6	92.4	93.7	90.5
(45)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	82.5	73.6	75.7	59.3
(46)	「総合的な学習の時間」の授業は、新しいことを発見できると思いますか	80.9	71.2	67.1	48.2
(48)	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	82.8	79.7	81.6	74.1
(50)	国語の勉強は好きですか	64.4	56.1	59.1	55.2
(51)	国語の勉強は大切だと思いますか	92.3	89.4	92.5	87.3
(52)	国語の授業の内容はよく分かりますか	84.8	78.0	79.3	66.8
(53)	読書は好きですか	78.1	72.3	77.6	69.0
(54)	新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか	79.2	75.1	63.8	58.5
(55)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.5	85.0	85.0	79.7
(56)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	63.0	56.4	50.5	43.1
(57)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	62.7	57.3	46.6	39.9
(58)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	74.3	67.1	62.4	55.5
(59)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	80.2	71.9	66.9	61.5
(61)	算数・数学の勉強は好きですか	71.5	65.4	58.4	52.8
(62)	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	93.2	91.7	86.4	78.1
(63)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	84.3	78.4	74.4	65.5
(64)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと	80.5	77.2	92.7	89.0

	思いますか・数学ができるようになりたいと思いますか				
(65)	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	79.6	76.0	68.9	63.6
(68)	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	82.0	77.0	71.0	62.7
(69)	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	81.9	78.4	74.6	65.5
(70)	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.2	81.4	84.3	77.0
(72)	解答時間は十分でしたか (国語 A)	63.7	55.4	91.5	89.9
(74)	解答時間は十分でしたか (算数・数学 A)	84.5	79.0	91.9	89.0

数字は、選択肢1「している」2「どちらかといえば、している」の合計

または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計

今年度の学習状況調査(児童・生徒質問紙)の結果も、75項目中44項目で全国、県を上回る良好な状態でした。基本的な生活習慣については、家庭と地域、学校が連携して、児童・生徒の健全育成に努力している姿がうかがえます。学校の教育活動では、読書、総合的な学習の時間の指導の工夫、各教科における分かる授業、問題解決学習の展開が、よい効果を上げていると考えられます。

③課題とされる面

学習状況調査の下野市の結果を全国または県と比べて、小学校中学校ともに下回っていた(ほぼ同じ)質問内容は、次のとおりです。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国 県	市	全国 県
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	83.4	84.7 85.8	71.8	70.7 72.4
(20)	家の人と普段(月～金曜日)、朝食を一緒に食べていますか	61.9	60.7 64.7	40.3	40.6 43.9
(24)	家で食事をするとき、テレビを見ないようにしていますか	78.4	80.7 83.0	86.0	83.6 86.0
(43)	体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたことがありますか	40.8	41.3 42.7	37.9	41.7 41.9

数字は、選択肢1「している」2「どちらかといえば、している」の合計

または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計

②から、(7)の自己肯定感を上回っていることが分かりました。しかし一方では、(8)の将来の夢や目標については、まったくもっていない児童・生徒が約7%いるなど、具体的な将来についての思いが希薄であることが課題として考えられます。

小中学校において、キャリア教育の一層の推進や、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等での思いやりの心の育成が、課題解決の努力点になります。

家庭には、食事の時間の共有やコミュニケーションの大切さをさらに啓発していく必要があります。

3 学習状況調査の分析結果

(1) 基本的な生活習慣

(1)「朝食を毎日食べていますか」、(3)(4)の就寝・起床時間については、昨年度同様、小中学生ともに好ましい状況にあると思われます。また、(2)「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」は、小学生は7割近く、中学生は7割強が「している」と答え、ほぼ昨年度と同じ結果となりました。

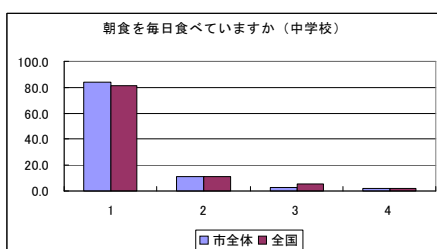
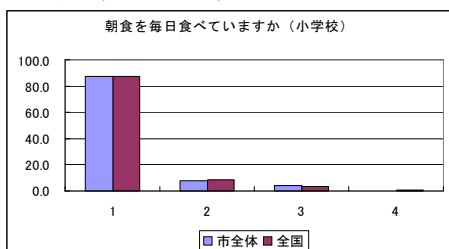
本市の小中学生は、「早寝、早起き、朝ごはん」の基本的な生活習慣が全国よりも定着していることが分かります。

さらに課題を挙げるとすると、これも昨年度と同じように、就寝時間が不規則な小学生が市全体の2割、中学生が3割いる点です。十分な睡眠時間を確保することの大切さを児童生徒や家庭に呼びかけて、就寝時刻を守ることを定着させて、より規則正しい生活習慣を継続させていくことが望まれます。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.3	95.4	95.4	91.9
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	87.0	85.3	89.5	83.3
(3)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.9	72.7	73.4	68.2
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.9	89.0	92.3	90.4

※数値は、「している」「どちらかといえば、している」の合計

(1) 朝食を毎日食べていますか

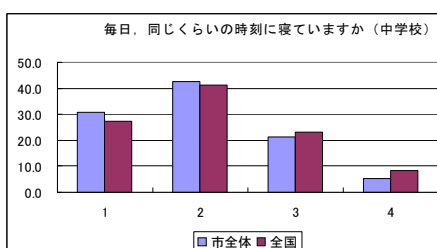
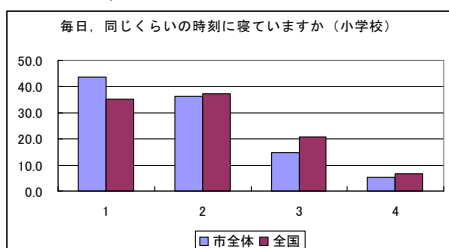


<選択肢項目>

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない



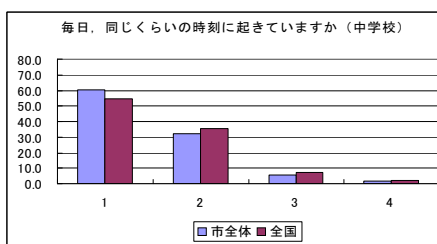
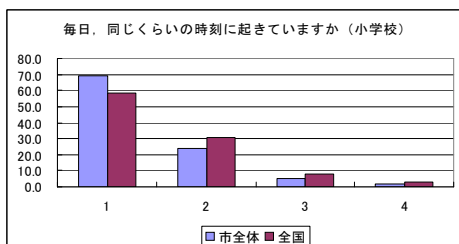
(3) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



<選択肢項目>

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(4) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



<選択肢項目>

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない



(2) 学習時間等

〈家庭学習について〉

(16)「平日勉強をしている時間」(17)「学校が休みの日に勉強をしている時間」は、今年度も小学生では、1時間以上が6割以上、中学生では、7割強という状況でした。小学生の分布の状況は、昨年度とほぼ同じでした。中学生の学習時間は、今年度も全国より顕著に上回る状況が見られましたが、3時間以上の割合は、昨年度よりも減少しています。

〈授業の復習について〉

(28)「授業の復習をしていますか」(29)「授業の予習をしていますか」は、「している」「どちらかといえば、している」の合計は、ともに全国を上回っていました。特に、復習の時間は、小中ともに全国を10%以上上回っており、学力調査との関連も表れています。

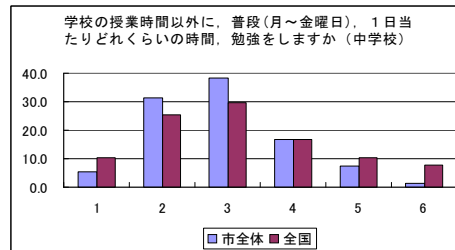
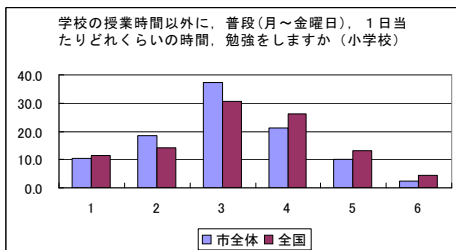
今年度も、本市の小中学生の学習時間は確保されており、家庭での学習の習慣化が図られていることがわかります。全国と比べても良い状態にあると思えます。しかし、「家庭での勉強時間」「授業の復習」について、「30分より少ない(平日)」「あまりしていない」と答えた小中学生の割合が比較高いことが、課題であると思えます。

①学習時間について

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	40.4	35.4	32.8	28.4
(28)	家で学校の授業の復習をしていますか	50.8	40.4	56.7	39.6

※数値は、「している」「どちらかといえば、している」の合計

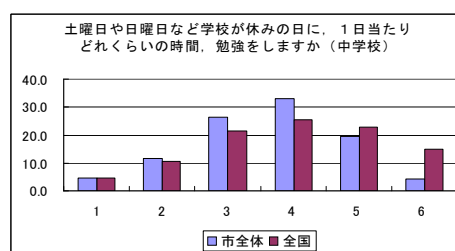
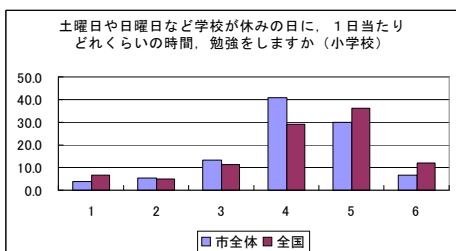
(16) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



〈選択肢項目〉

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしていない

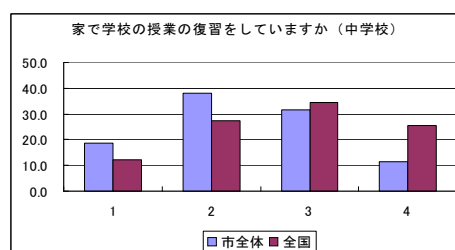
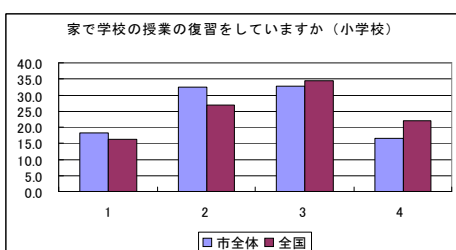
(17) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



〈選択肢項目〉

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしていない

(28) 家で学校の授業の復習をしていますか



〈選択肢項目〉

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

②国語・読書，算数・数学について

「国語の勉強は好きですか」は，小学生は全国をやや上回り，中学生は全国とほぼ同様の結果でした。また，「読書は好きですか」は，小中学生ともに全国を上回っており，特に中学生において顕著である結果でした。

「算数（数学）の勉強は好きですか」は，小中学生ともに「当てはまる」と答えた児童生徒の割合が，全国を上回る結果となりました。

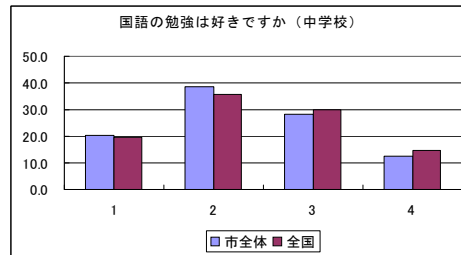
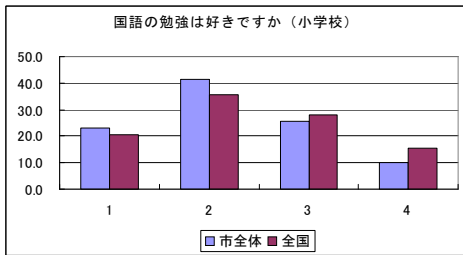
これらの結果は，昨年度と同様でした。

昨年度の結果と比較しても，本市の小中学生は，国語，算数（数学）が好きな子ども達が多いことがわかりました。特に読書が好きであることは，本市の子ども達のよさとして捉えられると考えられます。

質問番号	質問事項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(50)	国語の勉強は好きですか	64.4	56.1	59.1	55.2
(53)	読書は好きですか	78.1	72.3	77.6	69.0
(61)	算数・数学の勉強は好きですか	71.5	65.4	58.4	52.8

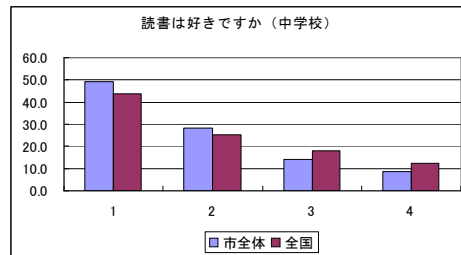
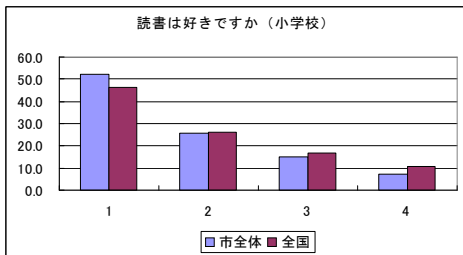
※数値は，「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」の合計

(50) 国語の勉強は好きですか



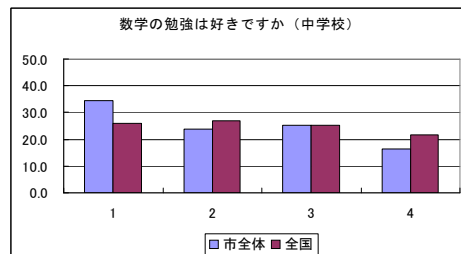
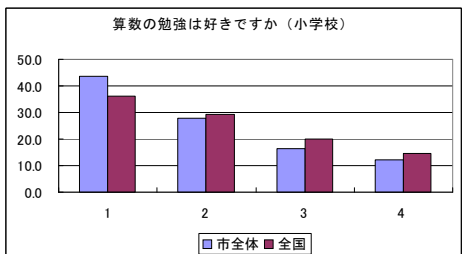
- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば，当てはまる
 - 3 どちらかといえば，当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(53) 読書は好きですか

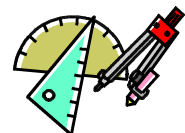
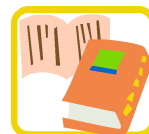


- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば，当てはまる
 - 3 どちらかといえば，当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(61) 算数（数学）の勉強は好きですか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば，当てはまる
 - 3 どちらかといえば，当てはまらない
 - 4 当てはまらない



(3) 学校生活

(29)「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」で、「そう思う」と答えた児童・生徒は、全国と同程度で8割を示す状況でした。(30)「学校で好きな授業がありますか」で、「そう思う」と答えた児童・生徒は、小学生は8割弱、中学生では6割弱という結果でした。これは全国を上回っています。

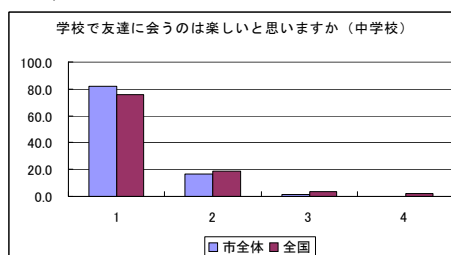
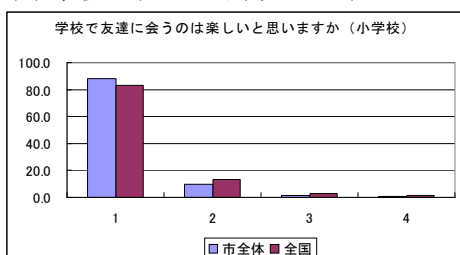
本市の小中学生の学校生活を問う項目は、全国と同程度、またはそれを上回る好ましい状況でした。これは昨年度と同様の傾向であります。

学校生活において、友達との関わり、好きな授業があることは、学力向上だけでなく、有意義な学校生活を送るための大切な要素です。今年度も全国に比べればよい状態と思えるかもしれませんが、今後、さらにこの内容の数値が上がるように、個別の把握と支援を、学習指導、児童・生徒指導、学級経営等で行っていくことが重要であると考えます。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(29)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	98.0	96.4	98.0	94.7
(30)	学校で好きな授業がありますか	92.7	92.4	86.2	77.2

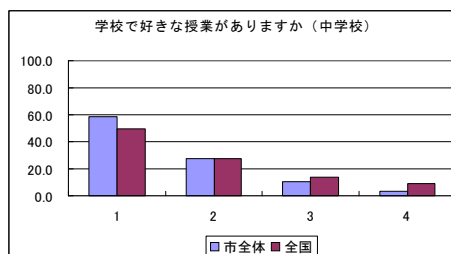
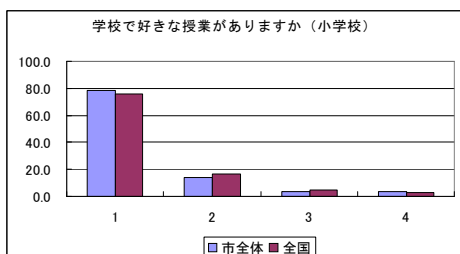
※数値は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計

(1) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 そう思う
 - 2 どちらかといえば、そう思う
 - 3 どちらかといえば、そう思わない
 - 4 そう思わない

(2) 学校で好きな授業がありますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 そう思う
 - 2 どちらかといえば、そう思う
 - 3 どちらかといえば、そう思わない
 - 4 そう思わない

(4) 家庭でのコミュニケーション

「家の人と、夕食を一緒に食べていますか」「学校での出来事について話をしますか」は、小中学生ともに全国をやや上回る結果でした。

「家の人と、朝食を一緒に食べていますか」は中学生で、「家で食事をするときは、テレビを見ないようにしていますか」は小学生で、全国を下回る結果となりました。

本市における「家庭でのコミュニケーション」は、全国と比べて、全体的にはのまずまず好ましい状況にあると思います。

しかし、「家の人と学校での出来事について話をしていますか」について、「あまりしていない」「全くしていない」と答えた小学生が市全体の3割弱、中学生が市全体の4割弱いるという結果は、昨年度からの課題です。

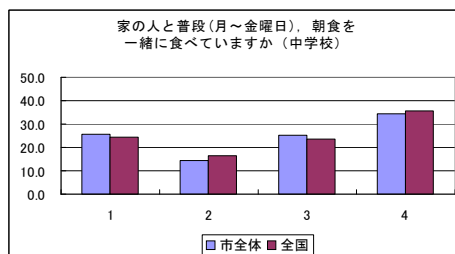
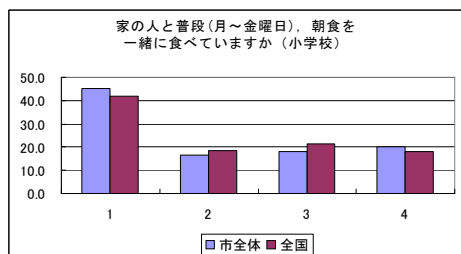
家族の生活スタイルによるところも大きいかと思われませんが、ファミリーエ下野教育

運動の「家族そろって食事をしよう！」をさらに推進していくことが改善策の一つとして考えられます。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(20)	家の人と普段(月～金曜日), 朝食を一緒に食べていますか	61.9	60.7	40.3	40.6
(21)	家の人と普段(月～金曜日), 夕食を一緒に食べていますか	91.9	88.0	85.0	80.4
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	71.6	69.2	61.1	57.9
(24)	家で食事をするときは, テレビを見ないようにしていますか	78.4	80.7	86.0	83.6

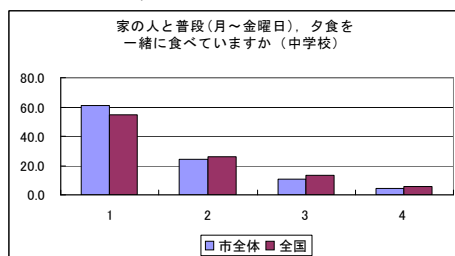
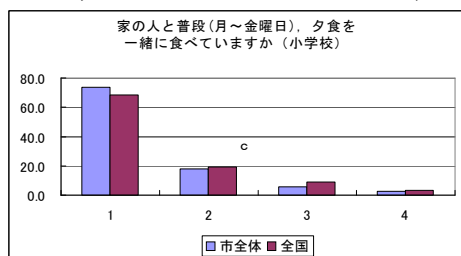
※数値は、「している」「どちらかといえば、している」の合計

(20) 家の人と普段(月～金曜日), 朝食を一緒に食べていますか



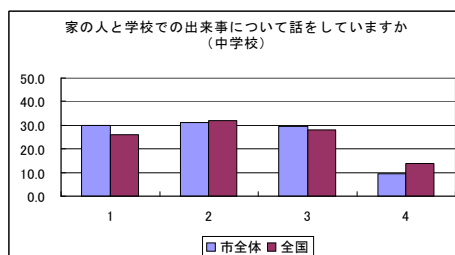
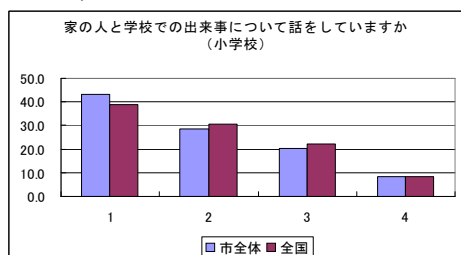
- 〈選択肢項目〉
- 1 している
 - 2 どちらかといえば、している
 - 3 あまりしていない
 - 4 全くしていない

(21) 家の人と普段(月～金曜日), 夕食を一緒に食べていますか



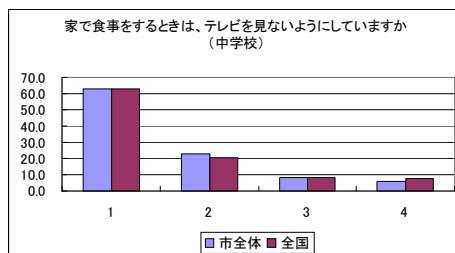
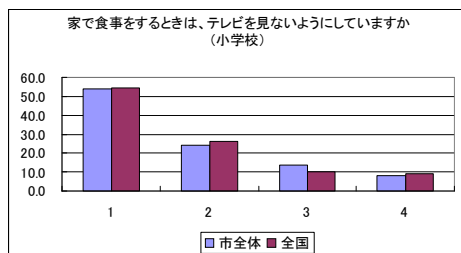
- 〈選択肢項目〉
- 1 している
 - 2 どちらかといえば、している
 - 3 あまりしていない
 - 4 全くしていない

(22) 家の人と学校での出来事について話をしていますか

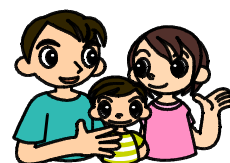


- 〈選択肢項目〉
- 1 している
 - 2 どちらかといえば、している
 - 3 あまりしていない
 - 4 全くしていない

(24) 家で食事をするときは, テレビを見ないようにしていますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 いつも見ている
 - 2 時々見ている
 - 3 あまり見ていない
 - 4 全く見ていない



(5) 規範意識・自尊意識等

規範意識については、「学校のきまり」「友達との約束」「いじめ」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた小中学生の割合が、すべて全国を上回っていました。

自尊意識等については、「自分には、よいところがあると思いますか」の項目は、全国を上回っていましたが、「将来の夢や目標をもっていますか」の項目は、肯定的な回答をした割合が全国と同等かやや下回る結果となりました。

本市の小中学生は、規範意識が比較的高い状況にあると思います。特に、学校のきまり・規則については、中学生の方が遵守の意識が高いことが分かります。

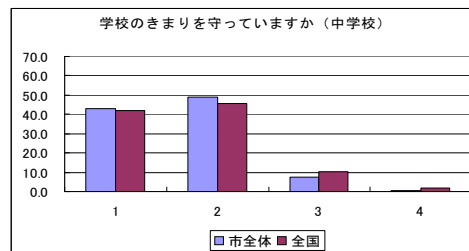
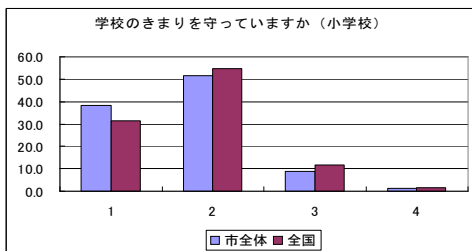
自尊意識については、自分を厳しく見つめる思春期の影響もあると考えられますが、中学生が低くなっています。中学生は、進路についても3年の4月はいろいろと思いを悩む時期であると考えられます。しかし、中学生の約3割が自尊意識が低く、3割弱が将来の夢や目標の意識が低いことは、課題であると思います。

小学校の段階から、さらに適度な自尊感情を高めること、自分の将来について真剣に考える機会を発達段階に応じて段階的に設けることが、今後の対策として考えられます。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(34)	学校のきまり(規則)を守っていますか	89.9	91.8	91.8	87.4
(39)	友達との約束を守っていますか	97.5	96.4	97.2	96.1
(39)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.8	94.7	93.8	89.5
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	80.1	73.4	65.3	60.8
(8)	将来の夢や目標をもっていますか	83.4	84.7	71.8	70.7

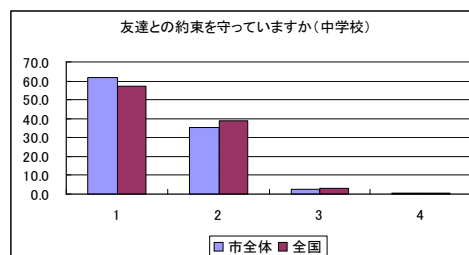
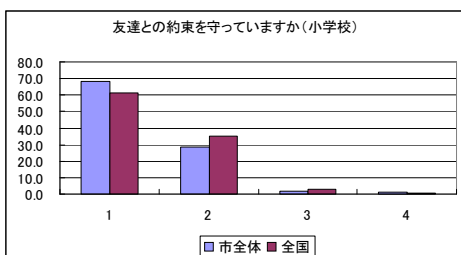
※数値は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計

(34) 学校のきまりを守っていますか



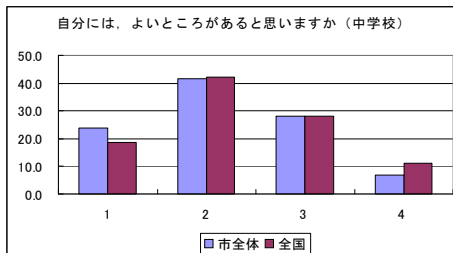
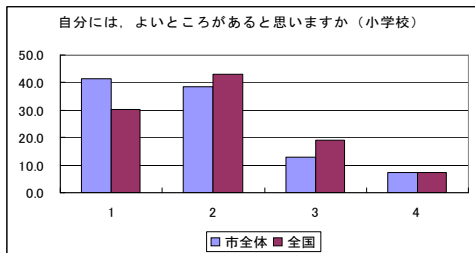
- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば、当てはまる
 - 3 どちらかといえば、当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(39) 友達との約束を守っていますか



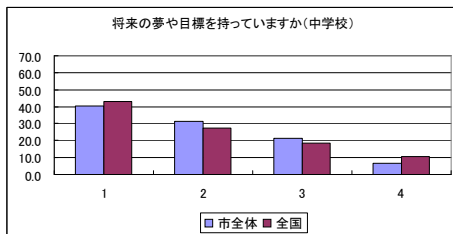
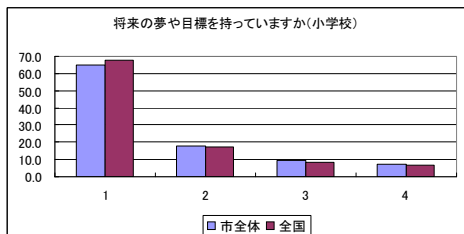
- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば、当てはまる
 - 3 どちらかといえば、当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(7) 自分には、よいところがあると思いますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば、当てはまる
 - 3 どちらかといえば、当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(8) 将来の夢や目標をもっていますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば、当てはまる
 - 3 どちらかといえば、当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(6) 地域について

「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか」は、全国をわずかに上回ったものの、中学生においては、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と答えた中学生が、7割以上占めていました。

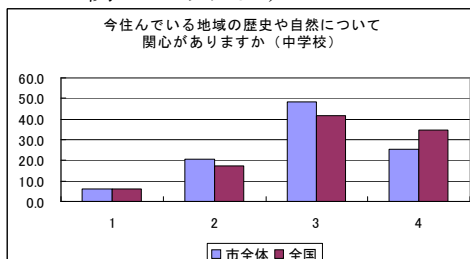
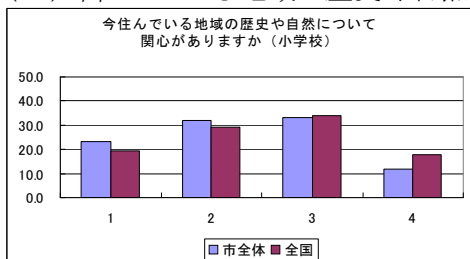
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は、参加している小中学生が全国平均を上回っていますが、参加していない小中学生も小学生で3割、中学生で6割弱いました。

本市は、数多くの史跡に恵まれた歴史と文化の豊かな地域です。残念ながら、地域についての関心や参加については、二極化傾向にあるようです。合併3年目になりますが、さらに子ども達が「自分たちの住んでいる下野市」にもっと関心を持ち、誇りが持てるように、「ふるさと学習」を、学校・家庭・地域社会で連携して取り組んでいくことが大切になります。

質問番号	質問事項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(32)	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか	55.1	48.2	26.5	23.5
(33)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	68.8	59.9	41.8	37.0

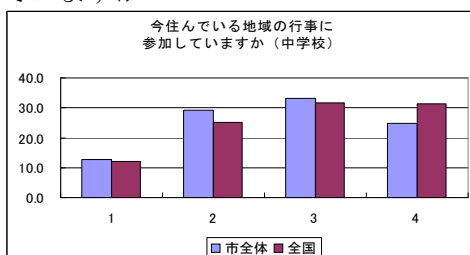
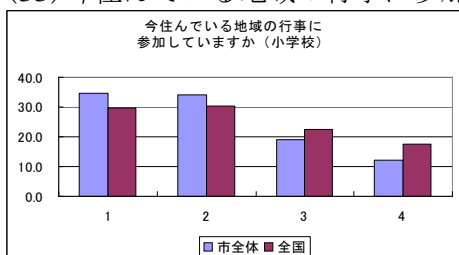
※数値は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計

(32) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば、当てはまる
 - 3 どちらかといえば、当てはまらない
 - 4 当てはまらない

(33) 今住んでいる地域の行事に参加していますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
 - 2 どちらかといえば、当てはまる
 - 3 どちらかといえば、当てはまらない
 - 4 当てはまらない